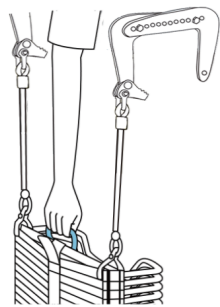


ORIRO

OA避難はしご(アルミ)

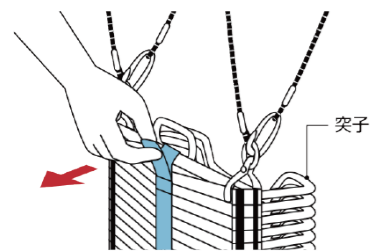
型式承認番号

は第20～1号(OA-41～81) は第28～5号(OA-91～101)
 は第19～15号(OA-91～101) は第28～6号(OA-41～81)
 は第20～2号(OA-42～82) は第28～7号(OA-42～102)
 は第19～16号(OA-92～102) は第28～8号(OA-43～103)
 は第19～17号(OA-43～103)



●「はしご」を取出す

吊り金具のワイヤーが振れないように、突子を手前にして取出します。



●収納バンドを外す

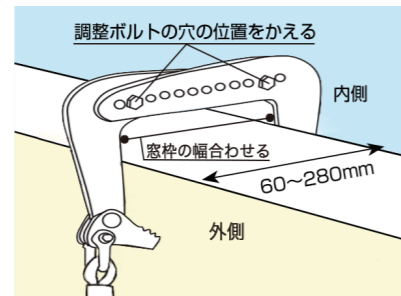
- ・バンドを外す前に、真下に人がいないか安全確認します。
- ・バンドの端を外側に向けて引くと止め金具が解除され手を放すと「はしご」が展張します。
- ・バンドは、上部に残ります。

●「はしご」を降りる

- ・体を内側に向け、横棧に足をかけ手摺、窓枠等を持って降ります。
- ・横棧を握って体を「はしご」に密着させるように降ります。

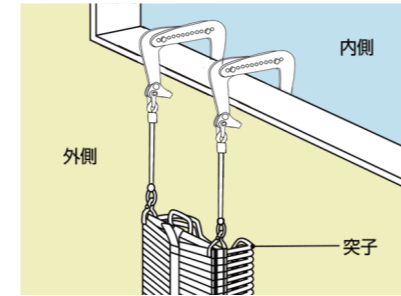
①自在フック(1)

- ・窓枠の幅に金具の幅を合せ、ボルトを締めて、調整しておきます。
- ・窓枠の強度を十分に確認します。



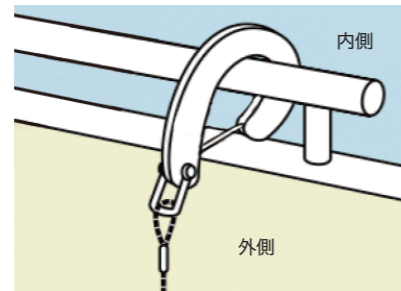
②

- ・突子を手前に外に出し、自在フックを窓枠に掛けます。



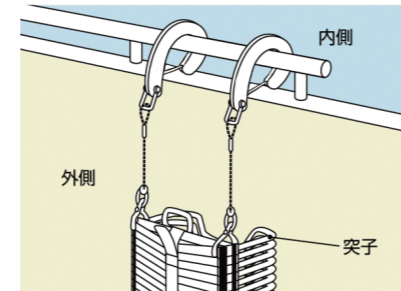
①ナスカンフック(2)

- ・手摺の外径寸法は48.6φ以内に使用します。
- ・手摺の外径、強度等を十分にチェックします。



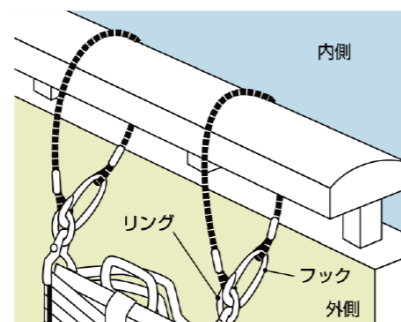
②

- ・突子を手前に外へ出し、ナスカンフックを手摺に掛けます。



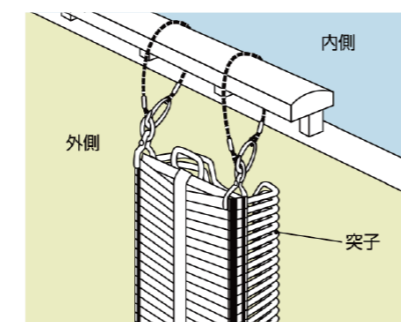
①ナスカンフック(3)

- ・手摺の外径寸法は50φ以上、又は異形管に使用します。
- ・異形管等の強度を十分に確認します。



②

- 突子を手前に外へ出し、異形管にワイヤーを通し、フックは必ずリングに掛けて確認します。



避難はしごの点検・保守は、年2回



お問い合わせは……

ORIRO オリロー株式会社
 URL: <http://www.oriro.co.jp> e-mail: oriro@oriro.co.jp

本社	〒112-0001	東京都文京区白山4-25-6 TEL. 03-3814-7744 FAX. 03-3813-2909
札幌支店	〒060-0008	北海道札幌市中央区北8条西24-1-3 TEL. 011-640-7744 FAX. 011-615-8299
東北支店	〒983-0043	宮城県仙台市宮城野区萩野町1-16-6 TEL. 022-208-7744 FAX. 022-208-7747
北関東支店	〒350-2201	埼玉県鶴ヶ島市富士見4-28-35 アークバレス1F TEL. 049-279-7744 FAX. 049-279-7745
横浜支店	〒232-0061	神奈川県横浜市南区大岡2-17-24 TEL. 045-277-7744 FAX. 045-277-7745
名古屋支店	〒454-0921	愛知県名古屋市中川区中郷3-383 TEL. 052-352-7744 FAX. 052-352-7775
浜松出張所	〒435-0014	静岡県浜松市東区大蒲町87-12 メゾンオルセー101号室 TEL. 053-541-7744 FAX. 053-541-7745
大阪支店	〒552-0007	大阪府大阪市港区弁天2-14-24 TEL. 06-6572-7744 FAX. 06-6574-2994
九州支店	〒815-0031	福岡県福岡市南区清水3-9-21 TEL. 092-551-7744 FAX. 092-511-6555
新潟営業所	〒959-0227	新潟県燕市粟生津山王724 TEL. 0256-92-7744 FAX. 0256-92-4949
メンテナンス部	〒112-0001	東京都文京区白山5-1-3-7F TEL. 03-3815-7744 FAX. 03-3815-7745
埼玉工場	〒355-0324	埼玉県比企郡小川町青山745 TEL. 0493-72-7744 FAX. 0493-74-0869
新潟工場	〒959-0227	新潟県燕市粟生津山王724 TEL. 0256-92-7744 FAX. 0256-92-4949



●本製品は予告なく変更することがあります

2020.03 改訂版

備えあれば 安心・安全ライフ

ORIRO

緊急時に素早く避難できる

ORIRO 避難はしご

取扱説明書

ご使用前にこの説明書をよくお読みいただき正しく使用してください。

国家検定合格品
型式承認番号

折りたたみ式

自在フック は第19～7号
ナスカンフック は第19～8号

ワイヤーロープ式

自在フック は第52～7号
ナスカンフック は第52～7～1号
自在フック は第27～2号(1～5号)
自在フック は第27～1号(6号)
ナスカンフック は第27～3号(1～6号)



OA避難はしご(アルミ)

自在フック(1) は第19～15号(91～101号)
自在フック(2) は第20～1号(41～81号)
ナスカンフック(2) は第19～16号(92～102号)
ナスカンフック(3) は第20～2号(42～82号)
自在フック型 は第19～17号(43～103号)
自在フック型 は第28～5号(91～101号)
自在フック型 は第28～6号(41～81号)
ナスカンフックA型 は第28～7号(42～102号)
ナスカンフックB型 は第28～8号(43～103号)

ORIRO 避難はしご

<ご使用前に>

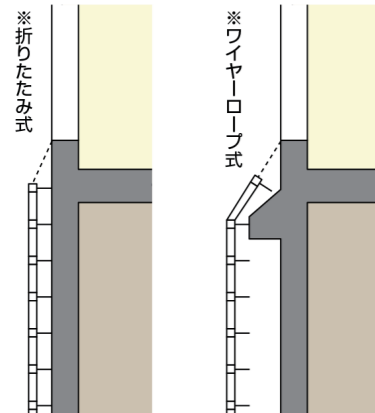
□ 保管場所

- ・設置場所の近くで、よく見える処に常設して下さい。
- ・表示板、「避難はしご」のちかくで、よく目立つ場所に貼ります。
- ・雨水等のかからない湿気の少ない場所を選びます。

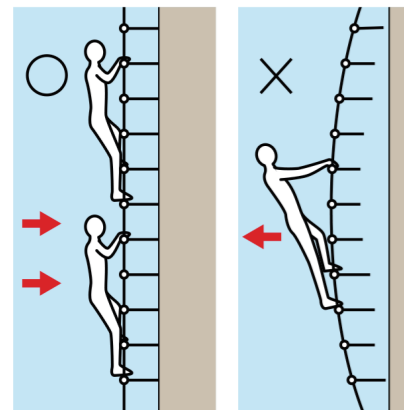


□ 設置場所

- ・設置場所を決める場合、窓枠や手摺等の強度を確認、上階の設置場所が真上にこない位置に設置します。
- ・「はしご」の操作、避難に必要な空間を確保できる場所に設置します。



- ※「折りたたみ式」の場合は、直下階面まで壁面が垂直な場所を選びます。
- ※「ワイヤーロープ式」の場合は、壁面に出っ張りがある場所に使用。



□ はしごを降りる

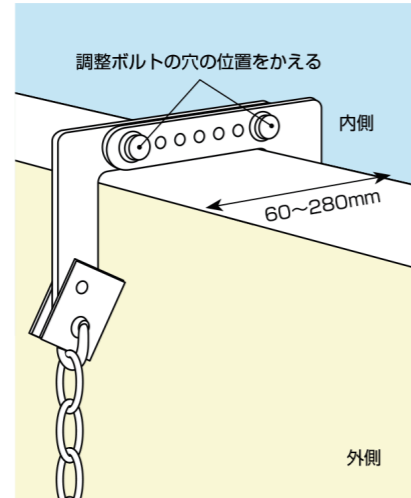
- ・横棧を握り、体を「はしご」に密着させるように降ります。

■ 折りたたみ式

型式承認番号
は第19~7号・は第19~8号

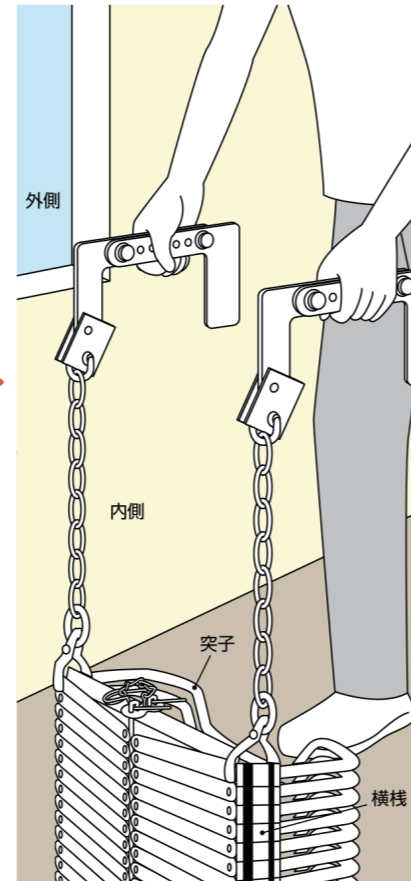
● 自在フックの場合

- ・調整ボルトを外し、窓枠の幅に金具の幅を合せ、ボルトを締め調整しておきます。
- ・窓枠の強度を十分に確認。



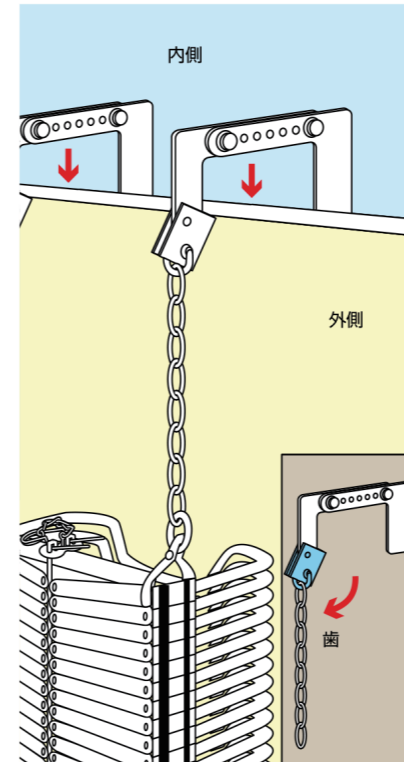
① 「はしご」を取出す

- ・吊り金具のチェーンが振れないように、突子を手前にして取出します。



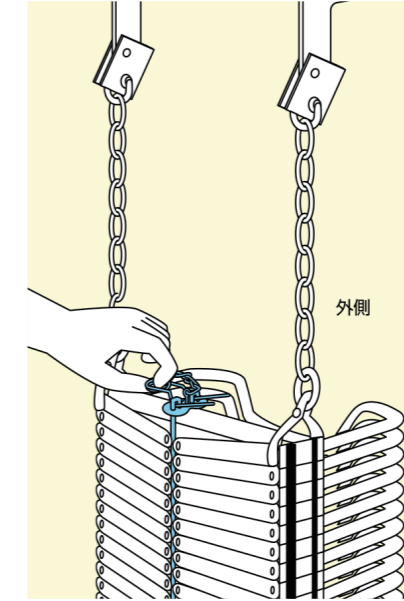
② 自在フックの場合

- ・突子等を持って、「はしご」を外に出し、吊り金具を窓枠に掛け、突子を壁面に添うように取付けます。
- ・金具が引張られると、歯が食込んで安定します。
- ・歯は下向きにして取付けます。



③ 収納バンドを外す

- ・バンドを外す前に、真下に人がいないか安全確認します。
- ・収納バンドの止め金具を横へ引き抜くと「はしご」が展張して、バンドも同時に落下します。

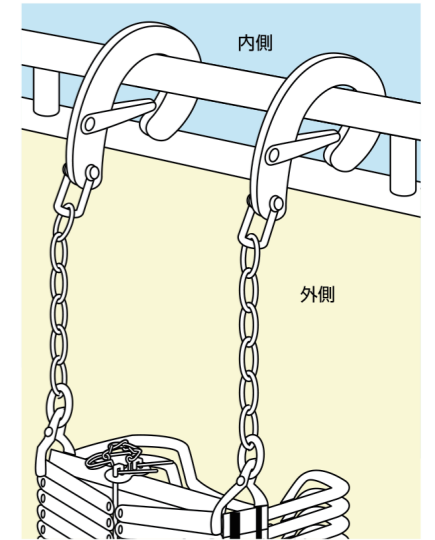


④ 「はしご」を降りる

- ・体を内側に向け、横棧に足を掛け手摺又は、窓枠を持って避難します。

● ナスカンフックの場合

- ・手摺の外径寸法は48.6φ以内に使用します。
- ・手摺の外径、強度等を十分にチェックします。
- ・突子を手前にして「はしご」を外に出し、フックを手摺に掛けます。
- ・以後は、自在フックと同じ操作を行います。



● 「はしご」を収納

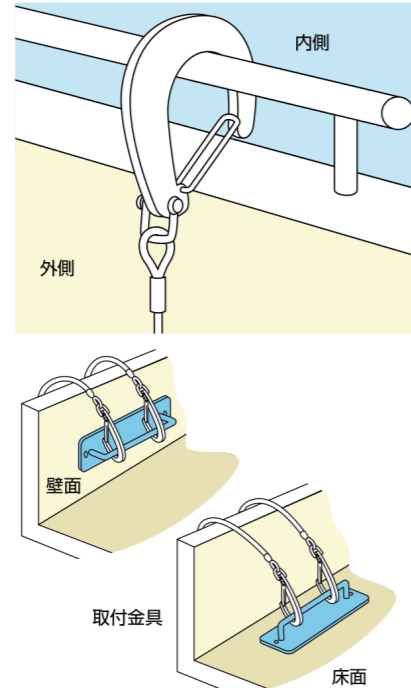
- ・ロープ等で吊り下げ、徐々に下ろしながら折りたたみます。
- ・「はしご」を上へ引張り上げると収納作業が難しくなる場合があります。

■ ワイヤーロープ式

型式承認番号
は第52~7号・は第52~7~1号
は第27~2号・は第27~1号
は第27~3号

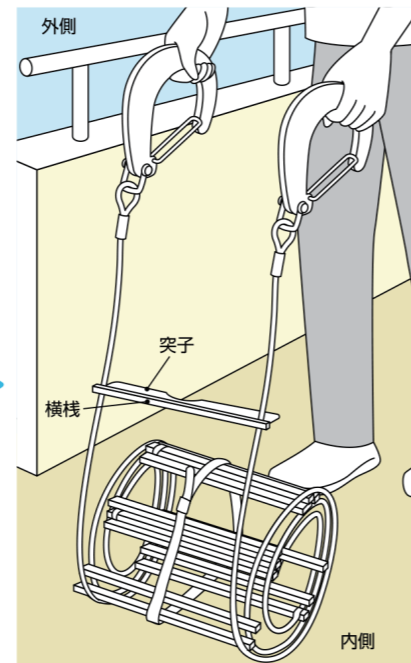
● ナスカンフックの場合

- ・設置、手摺の外径寸法は50φ以内で使用手摺の外径、強度の充分チェックします。



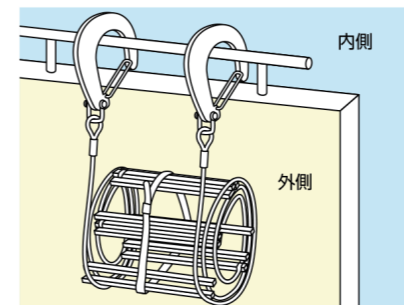
① 「はしご」を取出す

- ・吊り金具のワイヤーが振れないように、突子を手前にして取出します。



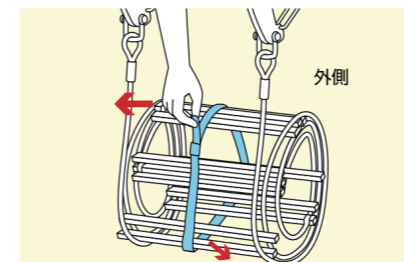
② ナスカンフックの場合

- ・突子を手前に横棧等を持ち、「はしご」を外に出しフックを手摺に掛けます。



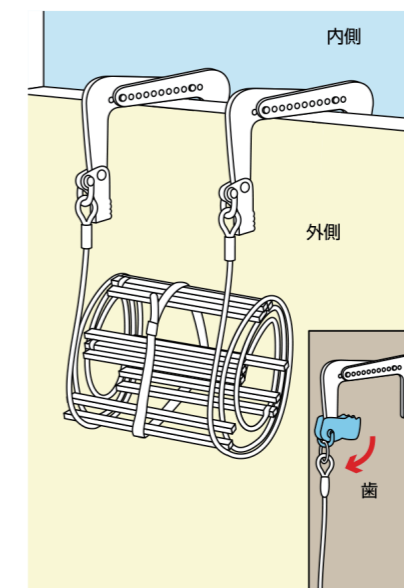
③ 収納バンドを外す

- ・バンドを外す前に、真下に人がいないか安全確認します。
- ・バンドの端を外側に向けて引くと止め金具が解除され手をはなすと、「はしご」が展張して、バンドも同時落下します。



● 自在フックの場合

- ・突子を手前に外へ出し、吊り金具を窓枠に掛けます。
- ・歯は下向きに取付け、金具が引張られ歯が食込んで安定します。



● 「はしご」を収納

- ・「はしご」をロープ等で吊り下げ徐々に下ろし、突子を内側にして巻き取って、収納します。
- ・「はしご」を引張り上げると収納作業が難しくなる場合があります。

⚠ 安全に関する注意

- ・この「はしご」は設置基準に従って2階、3階で使用します。
- ・訓練、避難時以外は使用しないで下さい。
- ・荷物を持って「避難はしご」を降りないで下さい。
- ・滑りやすい「はきもの」で降りないで下さい。
- ・製品の分解、改造は絶対にしないで下さい。

⚠ 定期点検

- ・「避難はしご」は、6ヶ月に1回の機器点検、及び1年に1回の総合点検が義務付けられています。
- ・有資格者の点検を受けて下さい。